LIXIL

施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書

オーバードアS

ー直昇電動タイプー

もくじ

1.安全のために必ず守ってください・・・・・・・・・・1
2.各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
3.使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3-1.安全装置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3-2.電源の入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3-3.リモコン送信器の登録と登録取消し・・・・・7
3-4.車載リモコンの登録と登録取消し ・・・・・・8
3-5.扉の開け方、閉め方 ・・・・・・・・・・・・・・・・9
3-6.電動で動かせないときの操作方法・・・・・・10
3-7.LED照明・ブザーの作動について オプション ・・・12
3-8.センサー柱について オプション・・・・・・・・・12
3-9.ホームユニットの登録について オプション・・・・・13
4.調整および交換方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
4-1.リモコン送信器の電池交換・・・・・・・・・・・15
4-2.調整について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
5.お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
6.保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
7.修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
8.別売り品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
9.仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

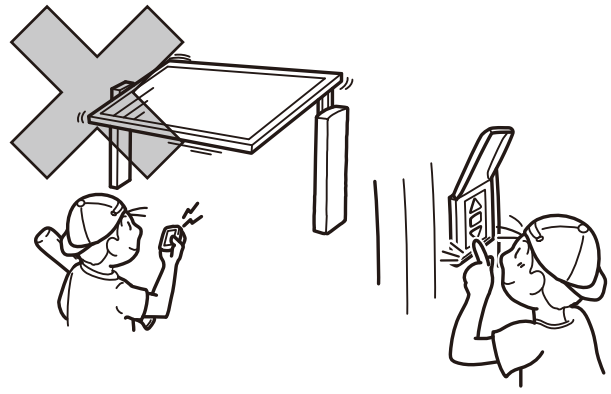
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UD112_201903J

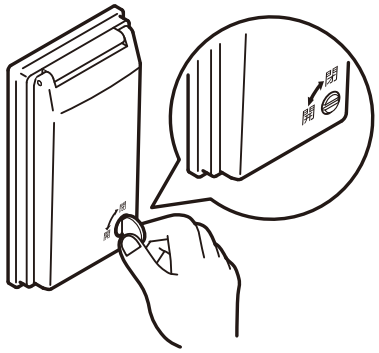
1　安全のために必ず守ってください

⚠ 警 告



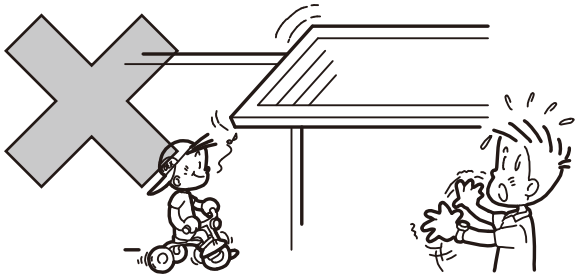
●お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告



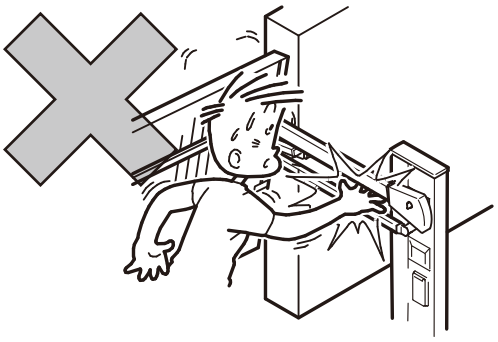
●電源スイッチカバーは、操作時以外は閉（ロック状態）に必ずしてください。不用意な操作により、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告



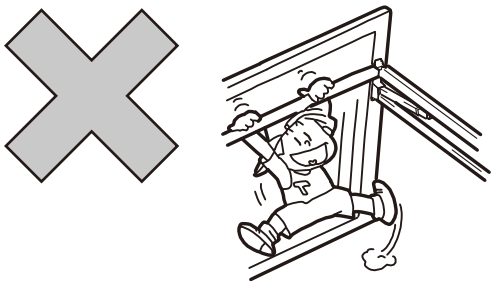
●扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。とくに、小さいお子様には十分注意して、お子様がいる場合には操作しないでください。思わぬケガをしたり、重大な事故につながることがあります。また、本体の故障の原因になります。

⚠ 警 告



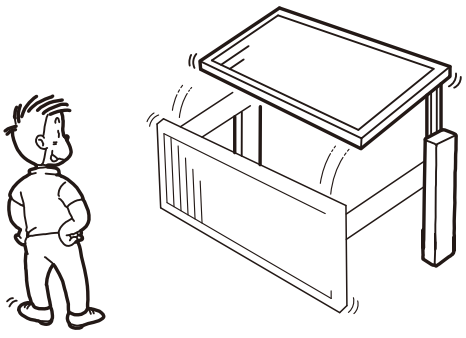
●扉が開閉しているとき、回転軸や動く部分に手や指などをはさまれないように注意してください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告



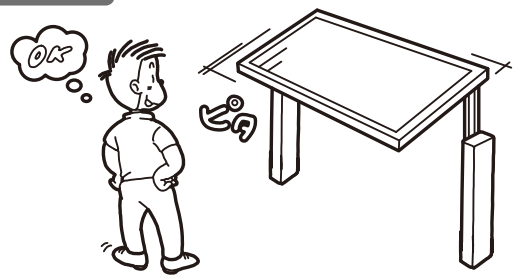
●扉やアーム、アーム連結棒にぶらさがったり、乗ったりしないでください。特に小さいお子様に十分ご注意ください。思わぬケガをしたり、重大な事故につながることがあります。また、部品などの破損や故障の原因になるおそれもあります。

⚠ 警 告



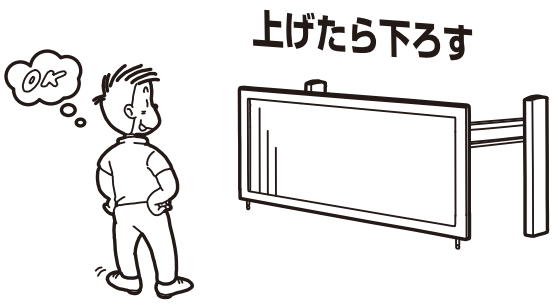
●扉の開閉操作が終わるまで、必ず目視確認してください。目をそらすと危険です。扉にはさまれたり、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告



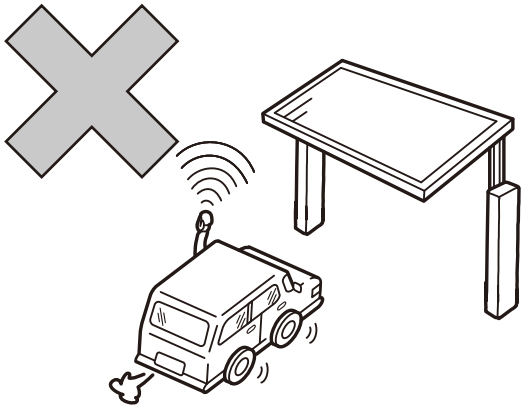
●扉の動きが止まったことを確認してから、人や車の出入りを行なってください。扉を完全に上げずに出入りすると扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけたり、重大な事故につながるおそれがあります。完全に上がっていることを十分にご確認ください。

⚠ 警 告



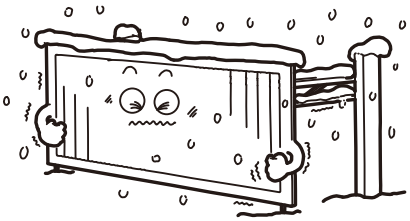
●ご使用に際しては、上げたまま放置せず、必ず１回毎に扉を下におろしてください。強風時や降雪時など、扉が落下してケガをしたり、破損や故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 警 告



●車を運転しながら操作しないでください。重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告

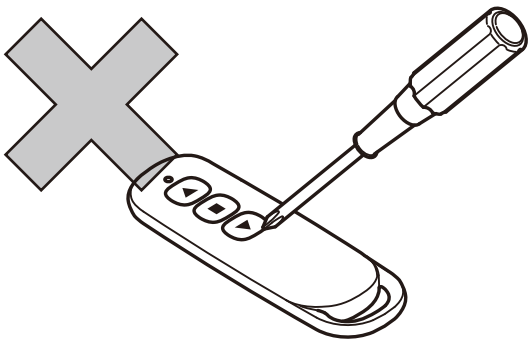


●降雪時は扉とアームに積もった雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらなかったり、扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけることがあります。また、破損や故障の原因になります。また、電動開閉中に途中で停止し、人や車の出入りの際、 ケガをしたり、車をキズつけることがあります。

⚠ 警 告

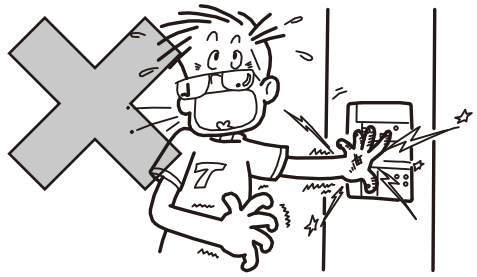
●扉本体やアームを取り外すなどして、ご自分で修理や改造をしないでください。重量バランスが崩れた場合はアームなどが急に跳ね上がり、ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警 告



●リモコン送信器や車載リモコンを分解したり、改造したりしないでください。異常な作動をして火災・感電・ケガをすることがあります。

⚠警告



●電動支柱内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。

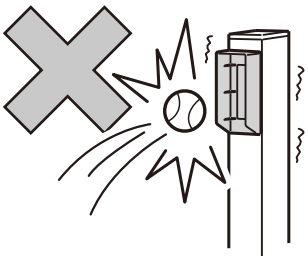
⚠警告

●仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。故障や発熱の原因となります。また、火災等につながるおそれがあります。

⚠注意

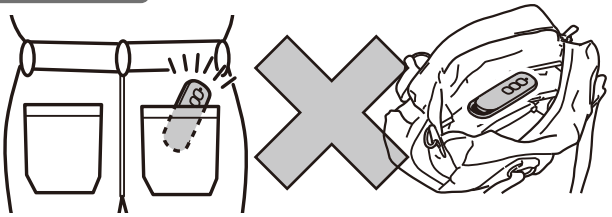
●リモコン送信器や車載リモコンは手袋をしたまま操作しないでください。誤った操作をして、事故やケガにつながるなるおそれがあります。

⚠注意



●センサー部に強い衝撃を与えないでください。故障してセンサーが働かず扉が体にあたるなど、事故やケガにつながるなるおそれがあります。

⚠注意

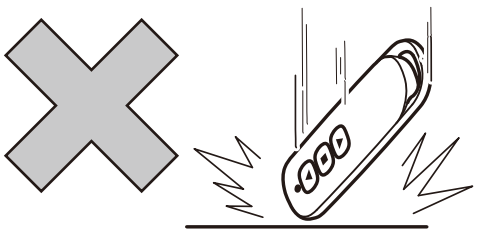


●リモコン送信機やアプリ画面を開いた状態のスマートフォンを、ズボンの後ポケットやカバンの中など他のものと接触するところへ入れないでください。誤ってボタンを押して扉が動き、ケガをするおそれがあります。

⚠注意

●電動状態（通電状態）のまま、無理に扉を開けないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。

⚠注意

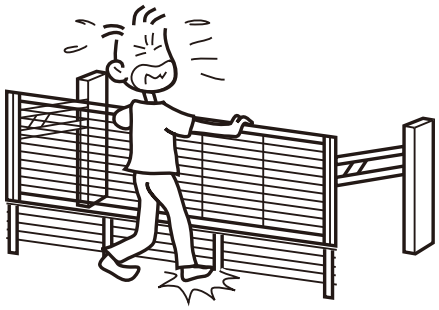


●リモコン送信器や車載リモコンを床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損・故障し作動不良等による事故やケガにつながることがあります。

⚠注意

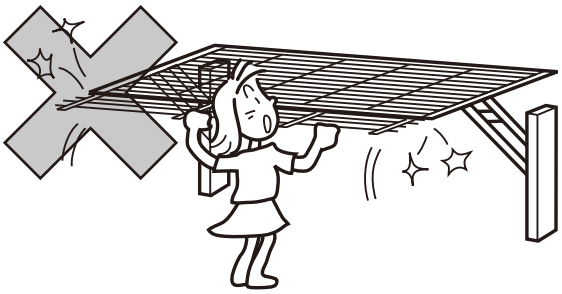
●リモコン送信器や車載リモコンをゲート用通信ユニットに登録する場合には、アルミ形材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

⚠注 意



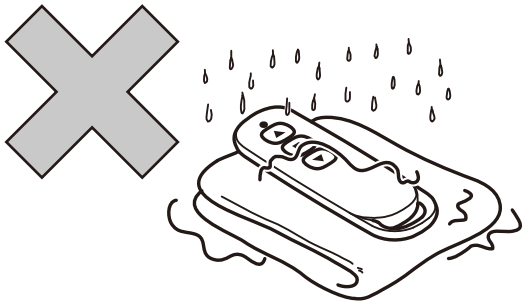
●扉の開閉時には足元に注意してください。地面とペットガードまたは接地ストッパーの間に足をはさみ、ケガをするおそれがあります。または、ペットガードや接地ストッパーが扉より前方にはみ出し、体にあたるおそれがあります。

⚠注 意



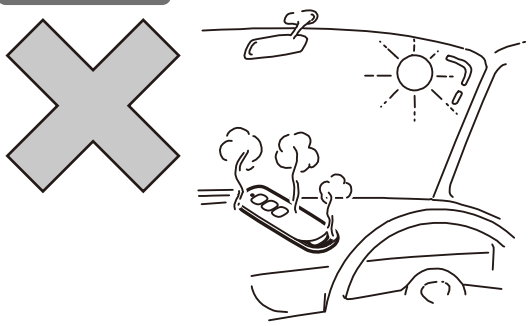
●扉の開閉時にはペットガードを持たないでください。扉の開閉は扉を持って開閉してください。扉本体とペットガードのヒビ・破損の原因になるおそれがあります。またネジがゆるんでいると、ペットガードががたつき、体にあたるおそれがあります。

お 願 い



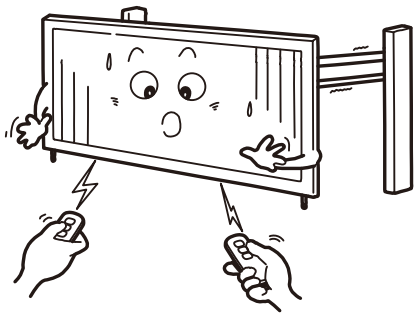
●リモコン送信器や車載リモコンを、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。故障または感電のおそれがあります。

お 願 い



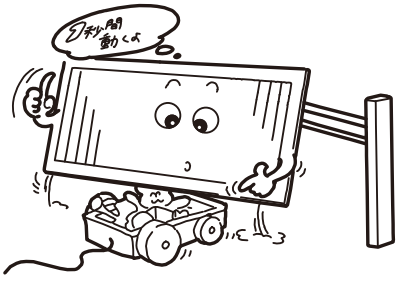
●リモコン送信器を温度が50℃以上になるような、夏期炎天下の車内などには放置しないでください。また、車載リモコンを車内設置する際は、ダッシュボードには設置しないでください。高温により故障の原因になります。

補 足



●リモコン送信器や車載リモコン等、2台以上の機器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。

補 足



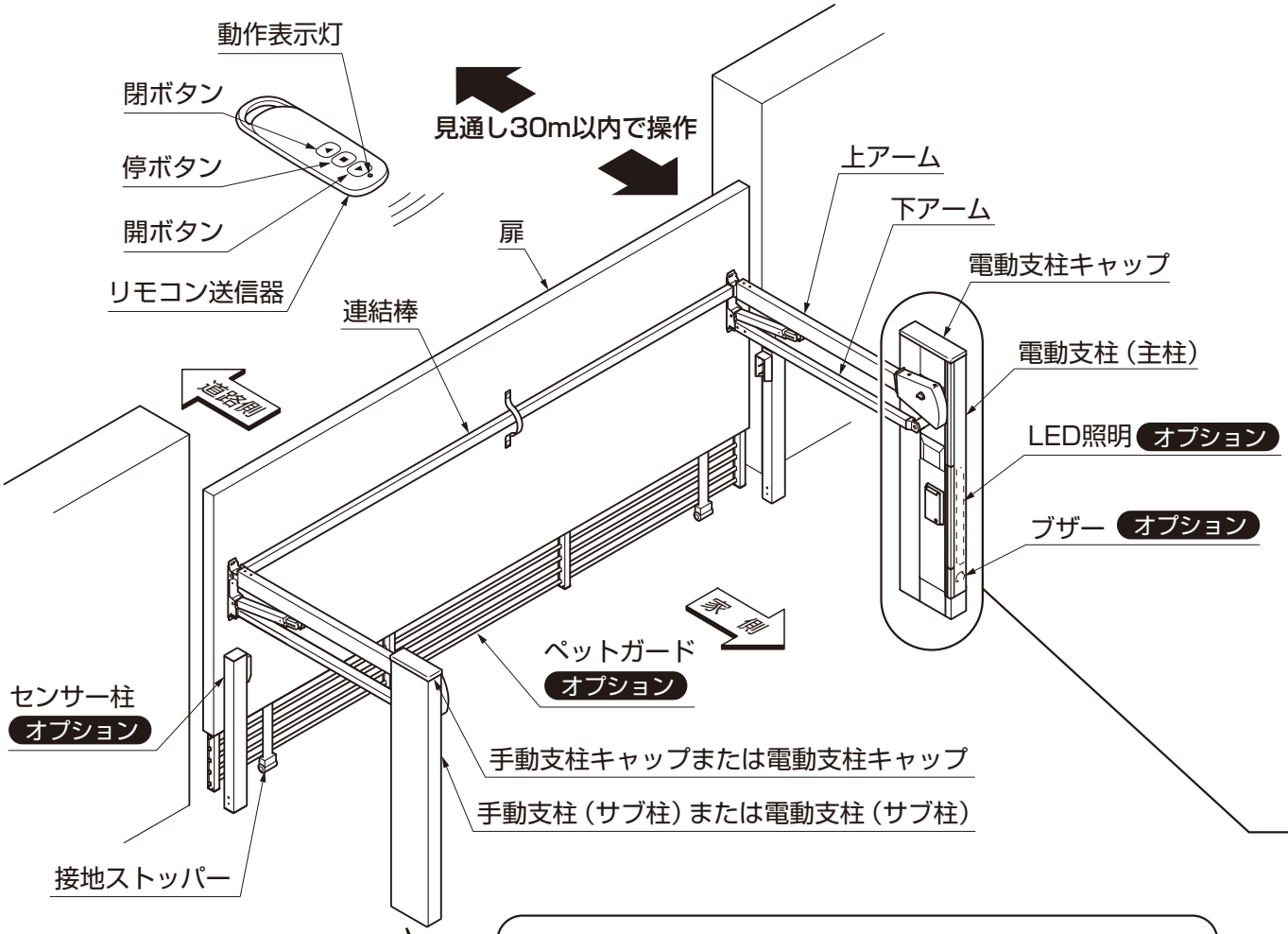
●扉が障害物にあたったときには安全装置が働き、閉時は逆方向へ約1秒間動き、停止します。開時はその場で停止します。障害物を取り除き、閉または開ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。

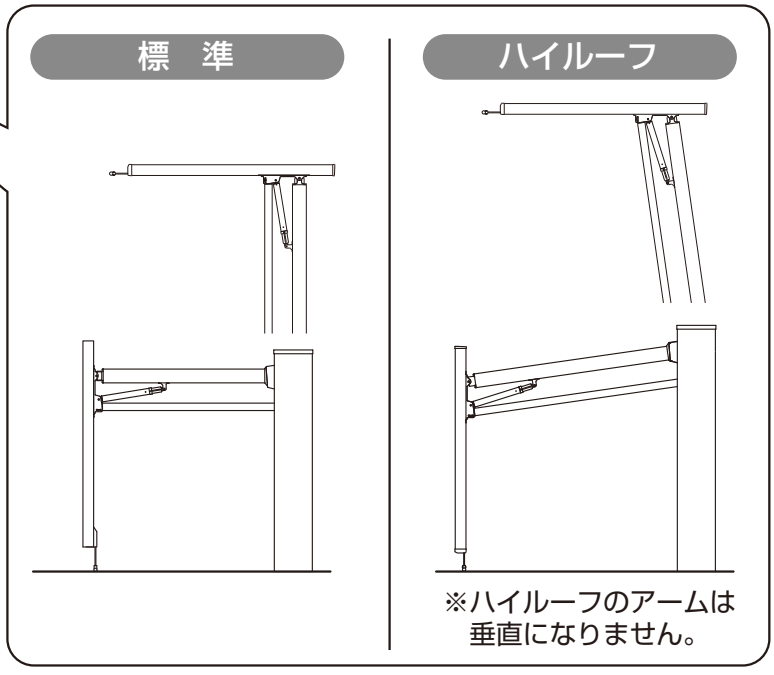
2　各部の名称

補 足

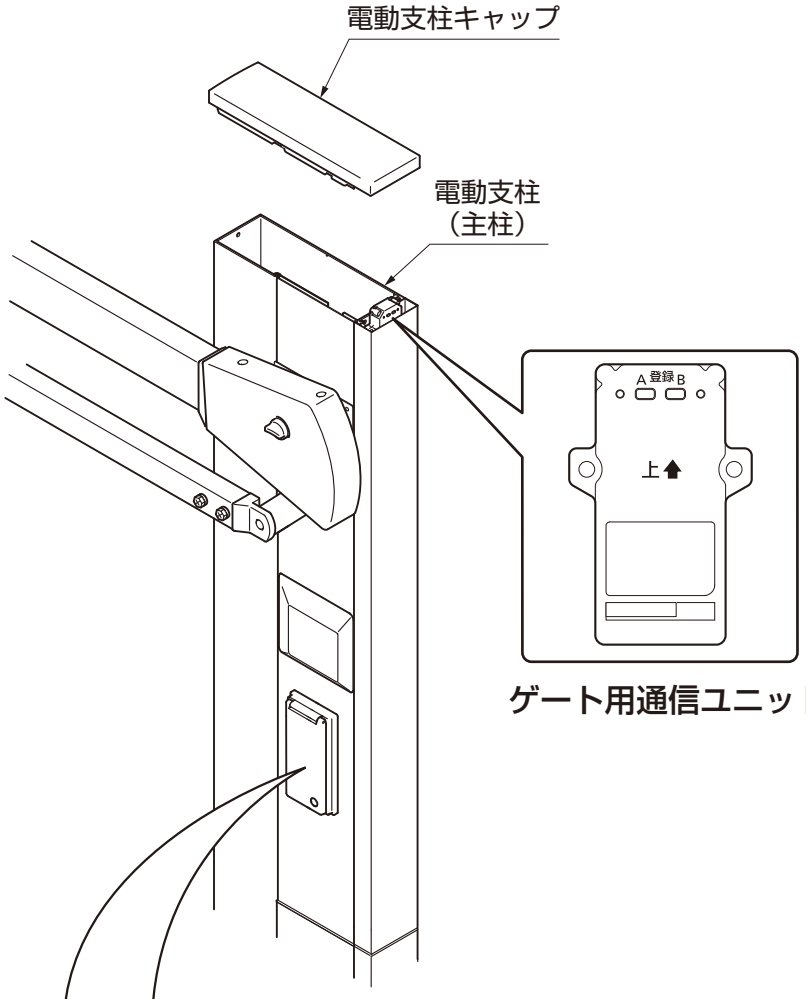
●門扉サイズ、種類により外観は多少異なります。

（1）オーバードアS　※図はオーバードアS　W27型を示します。

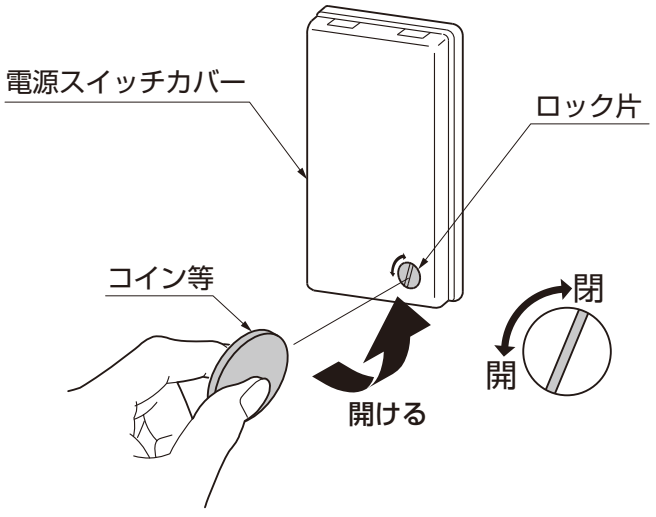


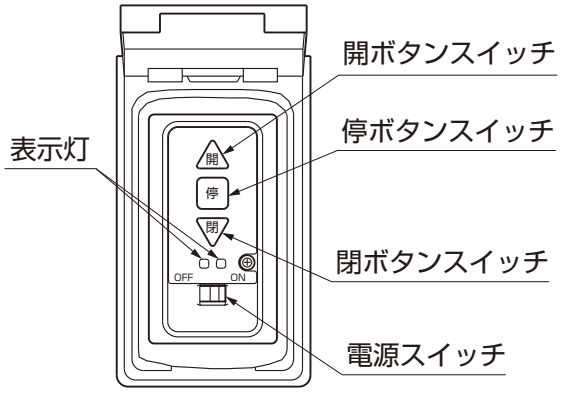


（2）電動支柱とゲート用通信ユニット



ゲート用通信ユニット





非常用押ボタンスイッチ

3　使用方法

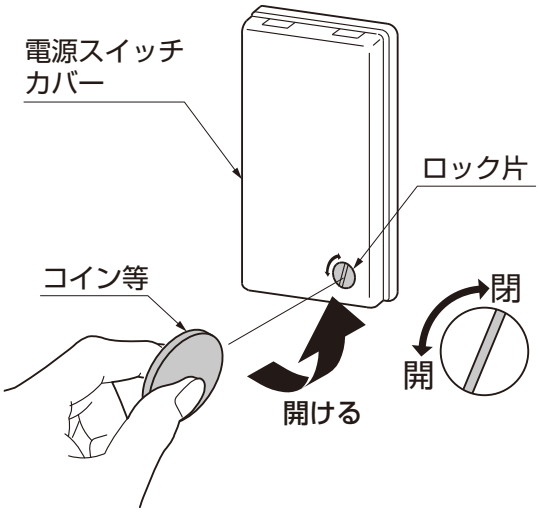
3-1 安全装置について

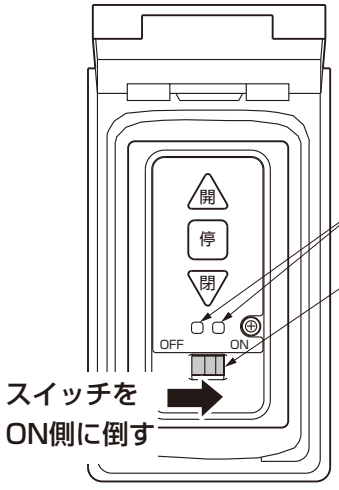
⚠注 意

●安全装置について、下記内容をよく理解した上で、製品を使用してください。誤解すると事故につながるおそれがあります。

・扉が作動中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置設定しています。
・開閉操作中に安全装置が作動した場合、閉側は、約1秒後退し停止します。開側は、その場で停止します。
・オーバードアS、ワイドオーバードアS 1モーターの場合、安全装置が働く力は7～8kgです。
・ワイドオーバードアS 2モーターの場合、安全装置が働く力は13～14kgです。

3-2 電源の入れ方





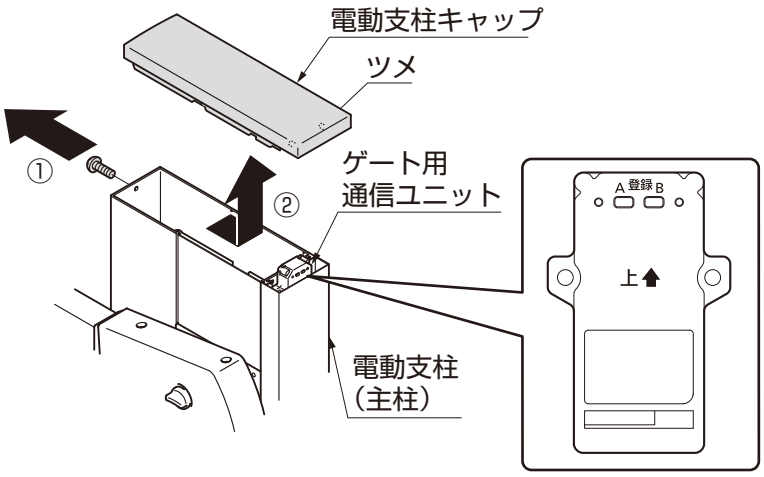
非常用押ボタンスイッチ

補 足

●電源を入れると左右の表示灯が点滅します。その後左側の表示灯が点灯し、しばらくして消灯します。

3-3 リモコン送信器の登録と登録取消し

（1）登録・登録取消しの前に



ゲート用通信ユニット

①電動支柱キャップを電動支柱（主柱）から取外してください。

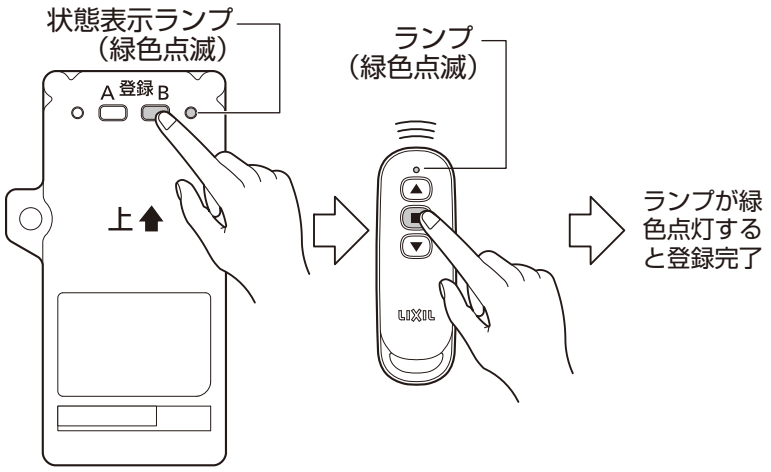
お願い

●登録または登録取消しが終了した後は、逆の手順で電動支柱キャップを取付けてください。

⚠注 意

●登録の際、アルミ形材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

（2）登録　※追加登録する場合も同様の方法になります。



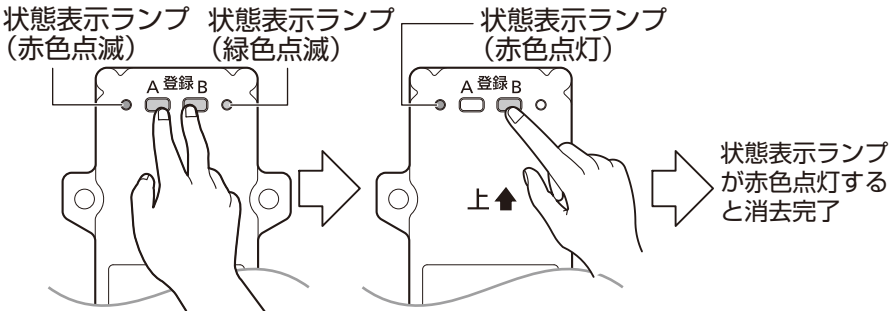
①ゲート用通信ユニットの状態表示ランプが緑色点滅するまで、「登録B」ボタンを約3秒間押します。

②リモコン送信器のランプが緑色点滅するまで、「■」ボタンを約5秒間押します。ランプが緑色点灯しリモコン送信器の登録が完了します。

補 足

- ●2台以上登録する場合は、①と②の作業を繰り返してください。
- ●リモコン送信器は、車載リモコンと合わせて16台まで登録可能です。17台目は登録できません。使わなくなったリモコンを入れ替える場合は、ゲート用通信ユニットを初期化し、再度登録してください。

（3）登録取消し　※登録されているすべてのリモコンを消去します。

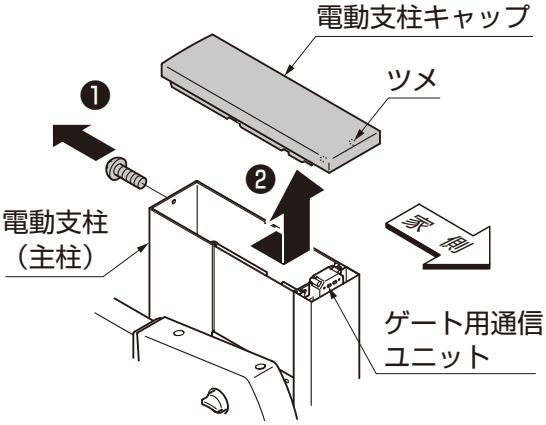


①状態表示ランプが緑・赤色点滅するまで、「登録A」「登録B」ボタンを同時に約10秒間押します。

②「登録B」ボタンを押します。状態表示ランプが約2秒間赤色点灯し、リモコン送信器の登録が消去されます。

3-4 車載リモコンの登録と登録取消し

（1）登録・登録取消しの前に



①電動支柱キャップを電動支柱（主柱）から取外してください。

お願い

- ●登録または登録取消しが終了した後は、逆の手順で電動支柱キャップを取付けてください。

⚠注 意

- ●登録の際、アルミ形材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

（2）登録・登録取消し

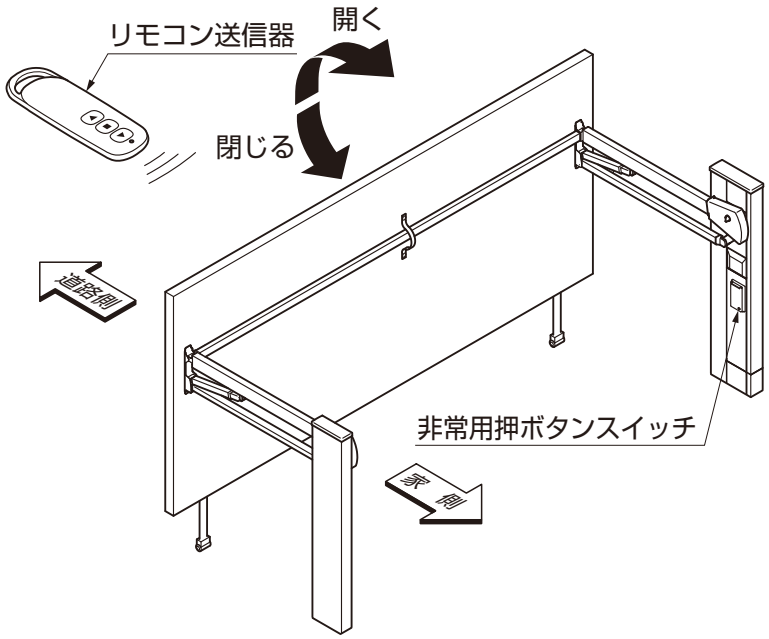
補 足

- ●車載リモコンの登録及び登録取消しは、ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

3-5 扉の開け方、閉め方

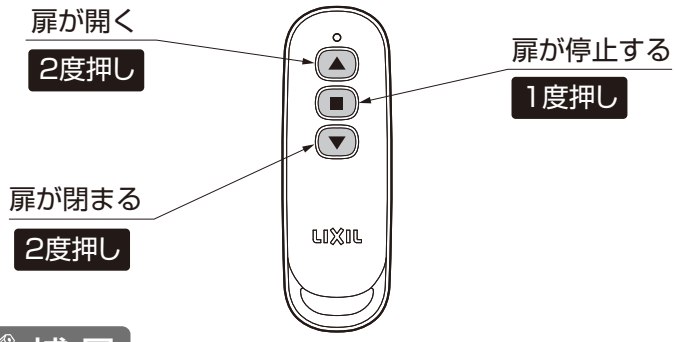
⚠ 警 告

●本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がいないことを確認してください。



ホームネットワークシステム連動 オプション

(1) リモコン送信器による操作方法



補 足

●作動途中で一時停止させるときは「■」ボタンを押してください。
●一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。
●安全上「■」ボタンに限り１回押すだけで送信します。

補 足

●リモコン送信器の到達可能距離（目安）は約30メートル以内です。
●「▲」または「▼」ボタンの2度押し間隔が２秒を超えると送信されません。
●「▲」・「▼」作動中に逆方向の操作をするときは、必ず一度「■」ボタンを押してください。

(2) 車載リモコン、スマートフォンによる操作方法

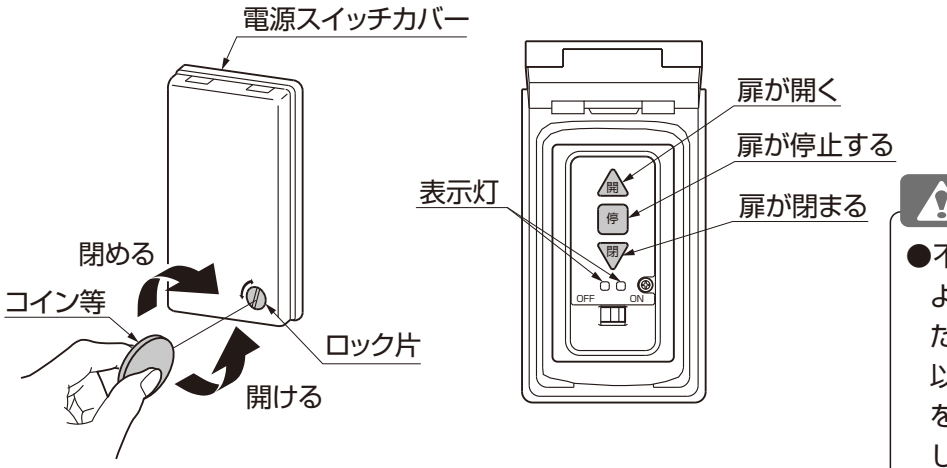
補 足

●車載リモコン、スマートフォンによる操作方法は、ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

（3）非常用押ボタンスイッチによる操作方法

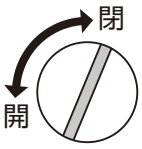
補 足

●非常用押ボタンスイッチは、非常時やリモコン送信器の電池切れ時などに使用してください。通常はリモコン送信器での操作を推奨します。



注 意

●不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。



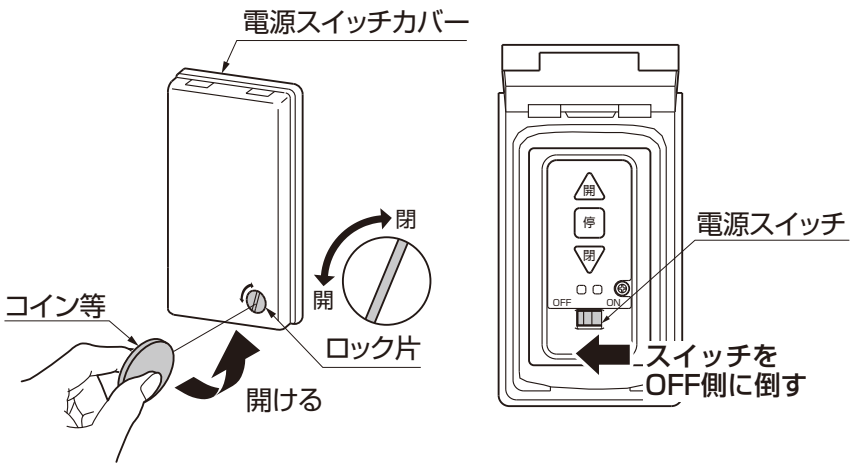
補 足

●作動途中で停止させるときは、「停」ボタンを押してください。
●「開」・「開」作動中に、それぞれの逆方向に操作する場合は、必ず一度「停」ボタンを押してください。
●「開」・「閉」動作中、左側の表示灯は点灯し、右側の表示灯は点滅します。動作待機中は左右とも消灯しています。

3-6 電動で動かせないときの操作方法

※非常時（停電・故障）など電動で動かせないときは電源スイッチを「OFF」にすることで手動で動かすことができます。

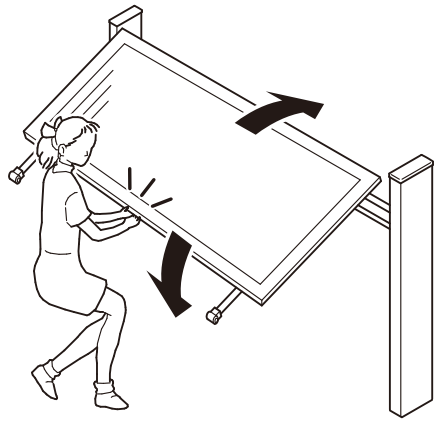
（1）電源の切り方



お願い

●電源スイッチが「ON」のときは、モーターによるロック（25～30kg）がかかっています。
手動で扉を開閉する場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。「ON」のまま開閉すると、駆動部の破損の原因になります。

（2）扉の開け方、閉め方



①扉の中心部を手で持ちゆっくりと開閉します。

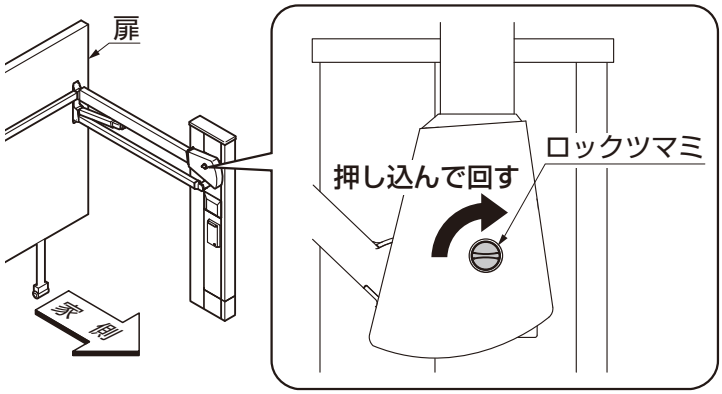
お願い

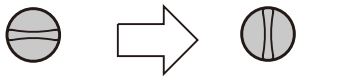
- ●扉の開閉時には必ずロックツマミを「解除状態」にしてください。「ロック状態」のまま開閉しますと、駆動部が破損するおそれがあります。
- ●ペットガードを使用している場合、開閉の際にペットガードを持たないでください。

補足

- ●オーバードアS、ワイドオーバードアS 1モーターの手動開閉には、約7kgの力が必要です。
  オーバードアS 2モーターの手動開閉には、約15kgの力が必要です。

（3）ロックツマミのロック　※非常時に扉を開いた場合の作業です。

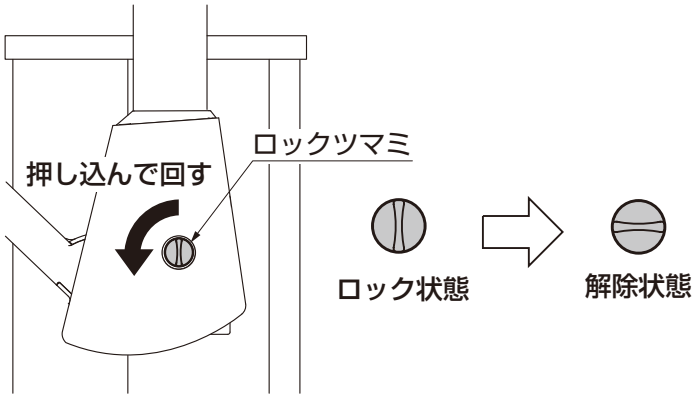




注意

- ●開けた際には、ロックをしないと扉が落下して危険です。必ずロックをしてください。

（4）ロックツマミの解除　※扉を開閉するときや、電動で動かせる状態になった場合の作業です。



お願い

- ●扉の開閉時には必ずロックツマミを「解除状態」にしてください。「ロック状態」のまま開閉しますと、駆動部が破損するおそれがあります。

補足

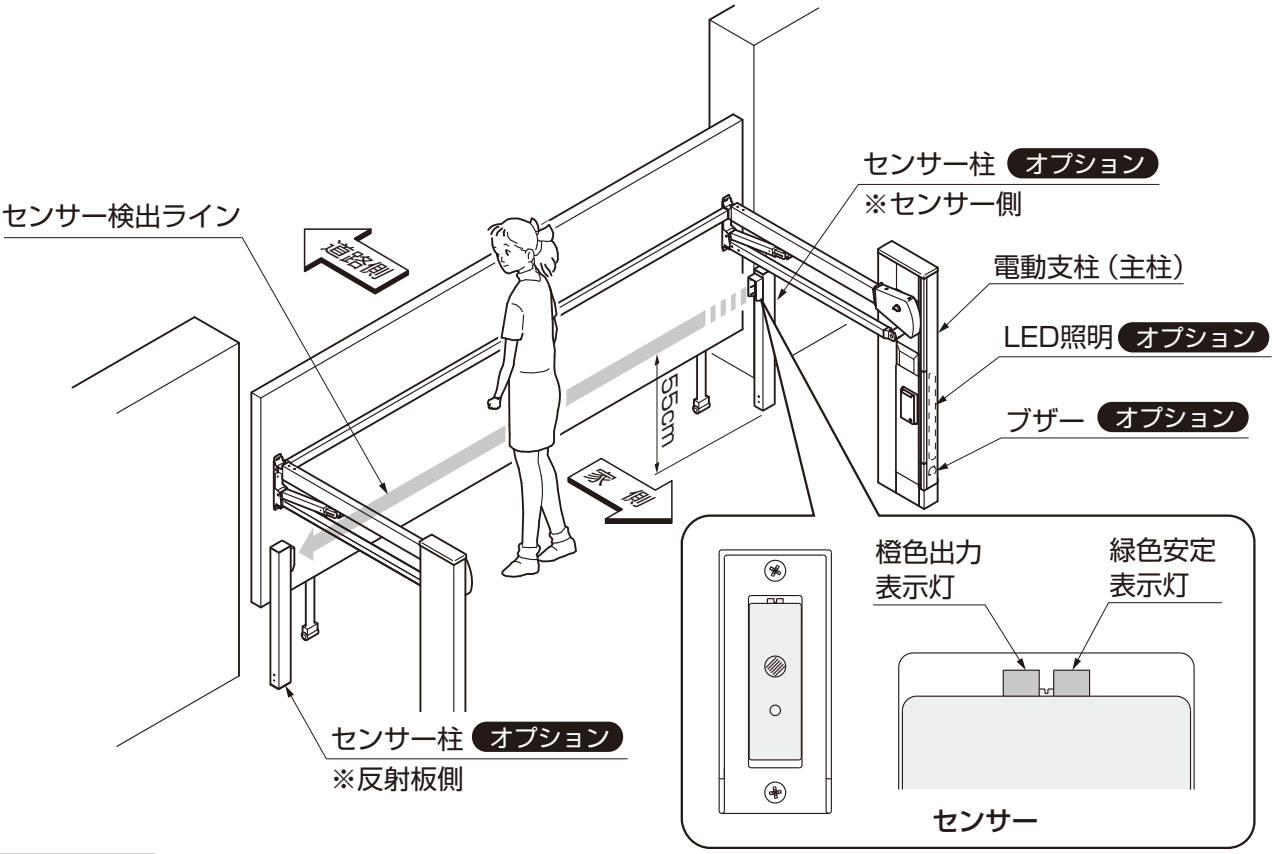
- ●手動切替後、電動で動かせる状態になったときは、電源スイッチを「ON」にすることを忘れないでください。

3-7 LED照明・ブザーの作動について オプション

補 足

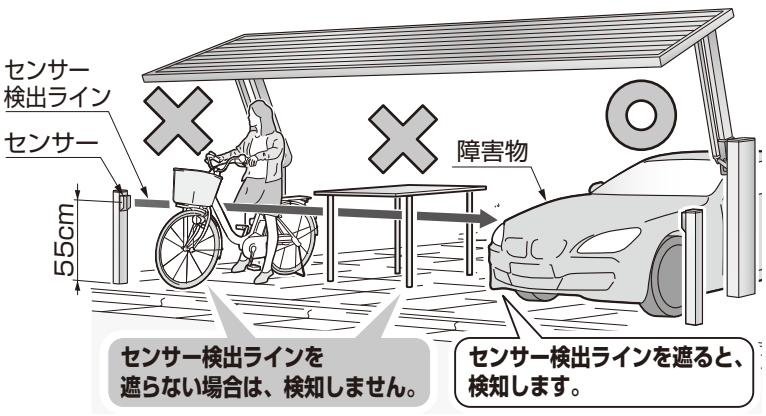
●LED照明は、昼夜に関係なくオーバードアの扉が開閉作動中に点滅します。扉が停止すると1分間点灯した後、消灯します。
●ブザーは、オーバードアの扉が開閉作動中にピー音が断続的に鳴ります。扉が停止するとブザーも停止します。

3-8 センサー柱について オプション



警 告

●必ず開閉操作の前に人がいないこと、物がないことを確認してから操作を行ってください。センサーはセンサー検出ラインを遮ることで障害物を検知します。障害物の位置や形によりセンサー検出ラインを遮らない場合があり、重大な事故になるおそれがあります。特に自動車以外のもの（スクーター・自転車・三輪車・ベビーカー・電動カートなど）については形状がさまざまでありセンサー検出ラインを遮らない場合があります。



補 足

●このセンサーは、安全のためのセンサーです。オーバードアの開閉作動中に人や車などがはさまれるのを未然に防ぎます。
●開閉操作中にセンサー検出ライン上に障害物を検出すると、その場で停止します。

（1）センサー検出範囲

●センサーには検出エリアに制限があります。地面から約55cmの高さが検出ラインになります。
●検出可能な物体は、人や車など約4cm角以上の不透明体に限ります。

（2）センサー検出したとき

●オーバードアの開閉作動中にセンサー検出ラインに人や車など障害物が入るとセンサーの橙色出力表示灯と緑色安定表示灯が点灯し、瞬時にオーバードアは停止します。

お 願 い

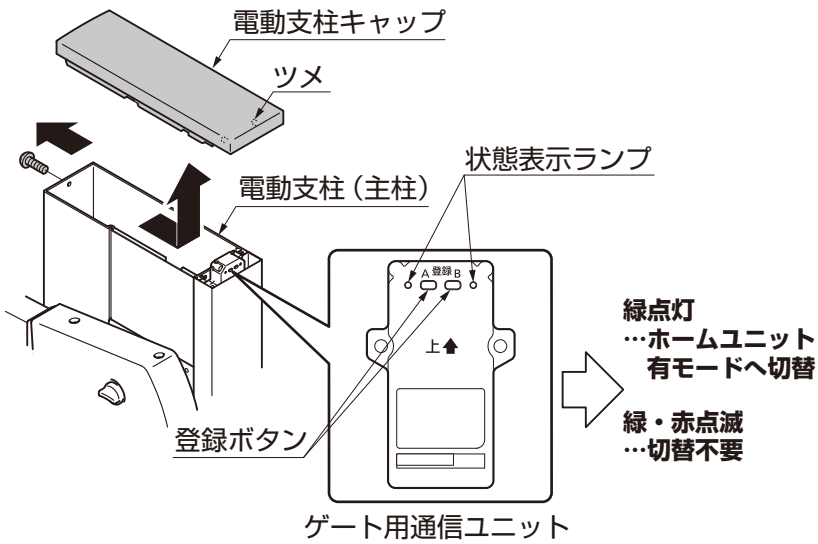
●障害物がある間（橙色出力表示灯と緑色安定表示灯が点灯）は、操作ボタンを押してもオーバードアは作動しません。障害物を取除いてから操作をしてください。
●雨や雪または泥水などがセンサー本体や反射板に付着したとき、センサーが障害物と判断し（橙色出力表示灯と緑色安定表示灯が点灯）オーバードアが停止する場合があります。柔らかい布で雪や汚れを拭き取り、再度操作ボタンを押して操作をしてください。
●降雪・降雨時に、まれにセンサーが障害物と判断し（橙色出力表示灯と緑色安定表示灯が点灯）オーバードアが停止する場合がありますが故障ではありません。再度、操作ボタンを押して操作をしてください。

3-9 ホームユニットの登録について オプション

※スマートフォンで操作する場合、ゲート用通信ユニットをホームユニットに登録してください。

（1）登録の前に

以下の方法でゲート用通信ユニットを「ホームユニット有」モードへ切り替えてください。



①電動支柱キャップを電動支柱（主柱）から取外してください。

お 願 い

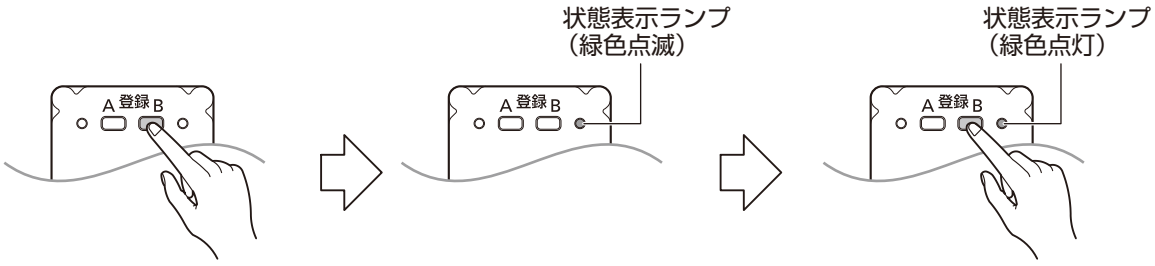
●登録が終了した後は、逆の手順で電動支柱キャップを取付けてください。

⚠ 注 意

●登録の際、アルミ形材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

②登録AまたはBボタンを押してください。
③緑点灯した場合は「ホームユニット有」へ切り替えて下さい。
緑・赤点滅時は切替不要です。

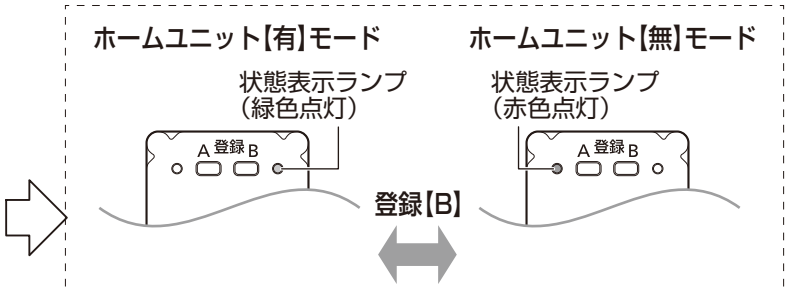
（2）ホームユニット有モードへの切り替え　※（1）で緑・赤点滅だった場合は作業不要です。



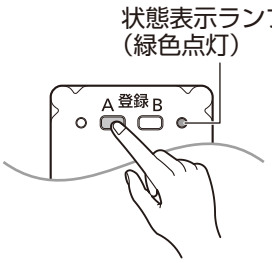
ゲート通信ユニットの登録【B】を10秒長押ししてください

緑が点滅します（※1）

点滅中に登録【B】を押してください（緑点灯に変わります）



登録【B】を押すたびに切り替わり、緑点灯・赤点灯が選択できます

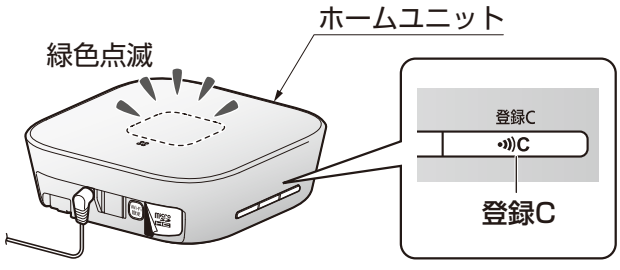


緑点灯にして登録【A】を押してください
設定が完了すると状態表示ランプが消えます

補 足

●約3秒後に点滅が始まっても指を離さず、押し続けてください。ゆっくりとした点滅に変わってから、次の操作へ進んでください。（※1）

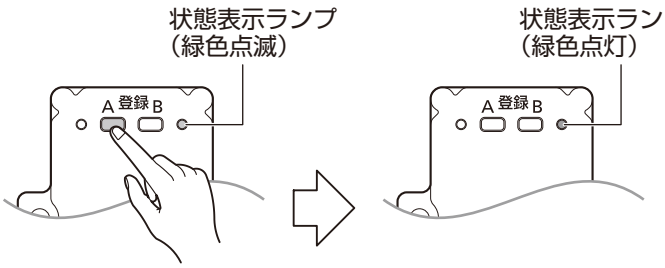
（3）ホームユニットへの登録



①ホームユニットの【登録C】ボタンを約3秒長押しして下さい。（ランプが緑色点滅するまで）

補 足

●実施後、3分以内にゲート用通信ユニットの登録操作を実施してください。
●ホームユニットとゲート用通信ユニットの間が見通し70m以内で登録してください。
※金属製のドアやシャッター、コンクリート壁やガラスを何枚も隔てる等、障害物があると通信距離が短くなります。見通せる場所へホームユニットを設置してください。



ゲート通信ユニットの登録【A】を3秒長押し緑が点滅します

緑点灯すると完了です

②ゲート用通信ユニットの【登録A】ボタンを約3秒長押しして下さい。（状態表示ランプが緑色点滅するまで）

補 足

●登録が完了するとホームユニットが「ピーッ」と鳴ります。
●ホームユニットと無線LAN、スマートフォンが接続されていない場合でも、登録操作は可能です。

4　調整および交換方法

4-1 リモコン送信器の電池交換

●電池を交換するとき
古い電池を取り出して
新しい電池を挿入して下さい。

補 足

●薄くて平らなものを電池カバーのロックキーに挿入し、「ロック解除」の位置に回してください。

補 足

●電池カバーをしっかり押さえながら、ロックキーを「ロック」位置に回してください。

補 足

※挿入／交換後、正常に機能させるために、次のことを必ずお守りください。
●電池の極性「+」・「−」を確認の上、正しくセットしてください。また、水分やほこりなどが入らないようにしてください。
●ぬれたり、汚れた手で電池をさわらないでください。電池の接触不良となります。
●電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしないでください。
●電極を曲げないでください。

4-2 調整について

⚠ 注 意

●製品の分解や改造は危険ですので、絶対にしないでください。
●部品に異常や不具合が生じた場合は、むやみな分解や調整をせず、使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。異常作動など故障の原因になり、事故につながるおそれがあります。

5　お手入れについて

（1）汚れの取り方

●年に2～3回水洗いをして拭きとってください。

a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。

b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

●ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形、変色することがあります。

補足

●お手入れは、できるだけ根気よく行ってください。汚れを放置すると表面の状態に悪い影響を与えることがあります。

（2）キズの修復

●アルミ部にあやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。
放置すると腐食の原因になります。

6　保証について

（1）保証書について

●このオーバードアS直昇電動タイプには保証書が付いています。

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。

●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工日 ▼	1年 ▼	2年 ▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

7　修理について

（1）修理を依頼する前に

補 足

●故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。直らなかったときには、修理を依頼ください。

このようなとき	点　検	処　置
電動で作動しない、途中で停止する	電源スイッチが「OFF」になっていませんか	電源スイッチを「ON」にしてください。（P.7「3-2電源の入れ方」参照）
	扉の軌道跡上および接地ストッパーのまわりに障害物などがありませんか	障害物を取除いてください。
	ロックツマミがロック状態になっていませんか	ロックツマミを解除してください。（P.12「(4) ロックツマミの解除」参照）
	センサーが障害物を検出していませんか	障害物を取除いてください。（P.13「3-8センサー柱について」参照）
	センサーの表面が汚れたり、雪が付着したりしていませんか	軟らかい布で汚れや雪をきれいに拭きとってください。（P.13「3-8センサー柱について」参照）
作動が遅い	全閉状態で、電源を一度「OFF」にしていませんか	扉を全閉状態にしてください。
リモコン送信器の開閉ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか	リモコン送信器による操作方法を確認してください。（P.9「(1) リモコン送信器による操作方法」参照）
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか（動作表示灯が点灯していますか）	新しい電池に交換してください。（P.15「4-1リモコン送信器の電池交換」参照）
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか	必ず0.3秒以上押してください。
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか	同時に発信しないでください。
	各種無線機器、コードレス電話などを同時に使用していませんか	同時使用は避けてください。
	操作位置がリモコン受信器から遠すぎませんか	30m以内で操作してください。
	リモコン送信器がゲート用通信ユニットに登録されていますか	リモコン送信器を登録してください。（P.7「3-3リモコン送信器の登録・登録取消し」参照）
車載リモコン、スマートフォンの開閉ボタンを押しても動かない	ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。	

補 足

●本製品は、インバータモータにより通常はスロースタート・スローストップします。ただし扉が全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると扉の作動は、スロー作動のままになります。スロー作動になった場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の作動にもどります。

(2) 修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電話番号	
施工店名		そ の 他	

●消耗品は寿命があり、有償修理となります。

8 別売り品

●下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
・リモコン送信器：増やしたいとき、あやまって破損・損失したときにお申し込みください。
・ロング接地ストッパー：扉下端と地面の間隔が広いときにご利用ください。
・補修塗料：あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
・ペットガード：扉下端のすきまからペットが外に出ないようにするときにご利用ください。
・接地ストッパー（補修部品）：先端のゴムが摩耗や劣化した場合に交換してください。
・ホームユニット、カーゲート用通信ユニット：車載リモコン、スマートフォンを使用したい場合にご利用ください。
・車載リモコン（追加用）：他の車でも使用したい等、追加したいときにご利用ください。

9 仕 様

項 目		仕 様
入力電圧		AC100V（50／60Hz）
消費電力（作動時）		8.4W 0.08A（1モータ）、16.8W 0.17A（2モータ）
モータ定格出力		10W
周囲温度		−10℃〜50℃
開閉時間		約16秒
操作方法	電動タイプ	リモコン送信器（押ボタンスイッチ（※））
	ホームネットワークシステム連動	リモコン送信器、車載リモコン、スマートフォン（押ボタンスイッチ（※））
リモコン到達距離（見通し距離）		リモコン送信器：約30m 車載リモコン：約30m

※非常時、リモコン電池切れの際に、コントロールボックスの押ボタンスイッチで操作が可能です。

補 足

●リモコン到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより、短くなることがあります。

LED照明ユニット オプション

入力電圧	DC12V
消費電力	約2.8W
LED	白色24個

ブザーユニット オプション

入力電圧	DC12V
消費電力	約0.2W
音圧レベル	80dB（※）

※単体での音圧レベル

オーバードアS[直昇電動タイプ]　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL
〒136-8535　東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング　ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで
https://www.lixil.co.jp/

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）
TEL. **0120-126-001**　FAX. **03-3638-8447**

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**
https://www.lixil.co.jp/support/

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（https://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UD112
JZZ621762J
201101A_1039
201903J_1049